

# 鉄道ピクトリアル

2005年3月号 Vol.55 No.3 通巻No.758

<特集> 常磐線今昔

■表紙 紙 651系特急「スーパーひたち」……………進藤 匡

広野一末統 2005-1-4  
マミヤ645PRO A150mmF2.8 絞りf5.6 タイム1/1000 RVP F

■カラー

特集：ときわ路の走者たち（1～8ページ）

佐野嘉春・飯塚卓治・河原慶明・千葉恵一・三沢 孝  
……………宮間陽平・海野達也・白井明王・静 拓志・戸塚光弘  
岸 孝・沼尾吉晃・三ッ谷政久

Pictorial Color Gallery 関ヶ原 特急街道……………飯塚 卓治… 73

〔小田急電鉄50000形／東武鉄道50000系／関東鉄道キハ2400  
形／JR四国8000系リニューアル／加古川線電化開業／大糸  
線キハ52 156が国鉄色に／高崎機関区で撮影会開催ほか〕 76～80

■グラフ

絵葉書で振り返る昔日の常磐線……………所蔵と解説：白土貞夫… 25  
懐かしの常磐線風景……………写真：伊藤 昭ほか… 30  
常磐線国電区間 昔日の情景……………写真：河 昭一郎ほか… 34  
D51その一族—1115分の1の素顔—(70)……………構成：編集部… 38  
常磐線5386レを追って……………沢上三千雄… 40  
トピック・フォト（各地・関東・中部・関西）……………81  
JR西日本「かにカニ列車」大全 2004年度版……………構成：和田京太… 88  
2004 京阪神地区 秋の修学旅行臨……………松橋 均… 90  
名鉄名古屋本線 急行832レの記録……………白井 良和… 92  
福岡市地下鉄七隈線開業迫る……………原 敬一… 93  
岐阜地区600V線の廃止に寄せて(3) 名鉄岐阜市内線を回顧して  
……………渡利 正彦… 94

■本文

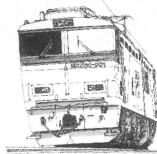
今月の話題：常磐線今昔……………編集部… 9  
常磐線—その歴史と地理—……………青木 栄… 10  
JR東日本 常磐線 近年の輸送・運転の動向……………白土 裕之… 20  
輸送近代化当時の常磐線  
—水戸鉄道管理局から俯瞰した1950～60年代の車両運用— ……国井 浩一… 41  
常磐線 線路改良の記録……………祖田 圭介… 52  
常磐線を走った列車の興味……………寺本 光照… 59

\*

回想 わたしの鉄道趣味史(3) 社会人鉄道ファンとの出会い  
—交通科学研究会にあきたらず東京鉄道同好会に入る— ……中川 浩一… 68  
鉄道の話……………編集部… 72  
東武鉄道50000系……………根岸 徹… 97  
近畿日本鉄道7020系……………佐藤 尊彦…102  
中部国際空港連絡鉄道 空港線の概要……………安達 義浩…107  
東京モノレール 羽田空港第2ビル延伸……………村上 温…112  
追捕 北京市内に保存された京奉鉄路の信号所と環状鉄路の「火車券洞」  
……………小野田 滋…114  
小田急電鉄2004年12月ダイヤ改正……………坂戸 宏太…116  
タイ国鉄だより……………今津 直久…117  
書評(497)『近・現代 交通史調査ハンドブック』……………和久田康雄…118  
12月のメモ帳……………119  
読者短信・情報ファイル……………120  
後部車から……………124

ISSN0040-4047  
Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

## 常磐線今昔

常磐線は日暮里—岩沼間343.1kmで、現在は全区間JR東日本の事業路線となっている。歴史的には東京と水戸を結ぶために水戸鉄道が開設した日本鉄道小山から水戸へ至る路線が起源となっており、その後日本鉄道が延伸を進め、1898(明治31)年に全線が開通している。全通後、日本鉄道時代は海岸線と称し、1906(明治39)年の国有化後に線名が常磐線となった。300kmを超える長距離幹線でありながら、路線系統は東北線に含まれ、「本線」の地位を与えられなかったのは、国鉄全線の中で見ると特異といえよう。

全盛期にかけての常磐線は二元的な性格を有していた。常磐炭田の石炭輸送と東北本線のバイパスとしての役割である。いわき市周辺地域に多数存在した炭鉱で産出された石炭を輸送するために、かつては貨物列車が頻繁に運行され、また沿線人口も多く、1961(昭和36)年以降は「中電」の運行も始まり上野—平間の輸送近代化が進められた。一方、勾配が多い東北本線に対し、上野—青森間などの長距離優等列車は海沿いで平坦区間の常磐線を使って設定、東北系統最初の特急「はつかり」も電車化以前は常磐線経由で運行され、北の動脈を担ったのである。

こうした時代を経て、今日では常磐線の性格は大きく様変わりした。東京近郊の通勤輸送、および水戸、いわきなどの都市を結ぶ幹線として変貌を遂げた感が強い。2005(平成17)年度には常磐中電にも新形式が投入されるとのことで、その展開に注目したい。なお、平は1994(平成6)年12月3日にいわきへ、川尻は2004(平成16)年3月13日に十王へ駅名がそれぞれ変更され、牛久—荒川沖間に1998(平成10)年3月14日ひたち野うしく駅が新設されている。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan